

第 3 回 日米共同ワークショップ 議事次第(案)

日時:平成 18 年 11 月 15 日(水) 9:30~17:00(予定)
平成 18 年 11 月 16 日(木) 9:30~15:30(予定)
場所:釧路市観光国際交流センター(北海道釧路市幸町 3-3)

議 題

1. 二国間における内分泌かく乱作用・影響評価に係る試験法開発の取組み状況
セッション 1) 日本の内分泌かく乱作用・影響評価に係る試験法開発の取組み状況
井口 泰泉
セッション 2) 米国の内分泌かく乱作用・影響評価に係る試験法開発の取組み状況
レスリー・トゥアート

2. 二国間における魚類(メダカ)を用いた繁殖影響評価に係る試験法開発の
技術的な課題
セッション 1) フルライフサイクル試験及び繁殖試験法開発の取組み状況と技術的な課題
関 雅範
セッション 2) 二世世代試験開発の取組み状況と技術的な課題
ロドニー・ジョンソン
セッション 3) 精巣卵の組織病理評価の取組み状況
平井 慈恵
クリスチナ・グリム

3. その他の内分泌かく乱作用・影響評価に係る試験法開発等の技術的な課題
セッション 1) 我が国における生態系の保全に係る化学物質管理の取組み状況
宮地 繁樹
セッション 2) 米国における内分泌かく乱作用・影響評価に係る体系の構築状況
ジェス・メイヤー
セッション 3) 両生類を用いた試験法開発の取組み状況
戸笈 修
レスリー・トゥアート
セッション 4) 無脊椎動物を用いた試験法開発
鑓迫 典久
ロゼマリー・ホール

4. 今後の方向性

座長:井口 泰泉、レスリー・トゥアート

以 上